



勞をずつと何年も経験した子ども達は何かあってもへこたれませんが、課題に立ち向かいあきらめない、うたれ強い人材はいくらからの社会でもとても重要です。

子どもたちが自ら夢中になつて取り組み、その中で経験した様々な知識は、他の誰かに説かれたどんな教えよりも深く子どもたちの中に刻み込まれるのではないかと考えます。私たちが提供する「ものづくり教育」とはこんな教育です。

●●●●●●●●●● なぜロボット製作なのですか？

きっかけは友人が持ってきたロボットキット。そのロボットを製作していると、たとえば二本足で立たせるには、三角形の図形の特徴があったり、動かすには力の伝達作用やテコの原理、関数だったり、座標だったり、ロボット一体作りあげるまでには、理数系の色々な単元が身につくということが解つたんです。丁度、自分の子どもを通して、学校ではゆとり教育の中、理数系の

科目がかなりカットされているということを知り、ロボット製作は子ども達が夢中になりながら理数系の脳が鍛えられるとても良い教材になると思いました。

●●●●●●●●●● 小1〜2年生向け 「クレファス ジュニア エリート」が新開校！

昨年までは小学3年生からのコースでしたが、この春から小学1・2年生のコースも開校します。教材はレゴ社の教育事業部門が開発したロボット教材を使用します。これは、レゴ社が低学年児童に向けて新しく開発したロボット教材で小さい子どもでも自由に好きなロボットを作ることが出来ます。すでに世界中の教育現場に普及し、ロボット教材の世界標準となったマインドストームシリーズのエントリー版として今後広く普及していくことが期待されています。クレファスではレゴ社の教育部門との協力関係により、この新教材を日本で初めて本格的に導入することとしました。



クレファスジュニアエリートでは基本的なねらいである、「想像力」、「創造力」、「理論的な考え方」、「科学の知識」にもとづいた教材を取り入れた画期的なクラスを提供していきます。

この教室卒業後には、希望者はさらに本格的な科学教育を受けられる環境が待っています。子ども達の「もっと学びたい！」という知的好奇心に応えます。



鴨志田 英樹 氏
(株)ロボット科学教育(英
文名:Crefus)代表取締役